

パートナー（当社が支援する活動地域）	2019 年度計画	2019 年度結果
世界の子どもにワクチンを日本委員会 （ブータン）	1. DPT ワクチンと B 型肝炎ワクチンを支援 2. ワクチン保冷庫を支援 KPI：ワクチンと保冷庫の供給数	1. DPT ワクチン 50,000 人分を提供しました。（2 歳児のワクチン接種不足分を 100%解消）、B 型肝炎ワクチン 8,000 人分を提供しました。（出生 24 時間以内の乳児のワクチン接種不足分を 100%解消） 2. ワクチン保冷庫を 5 台提供しました。
ジャパンハート※ （カンボジア）	1. ジャパンハートこども医療センターの施設インフラ整備 ・新しい CBC 測定器（自動血球分析装置）の導入 2. 医療者教育支援 ・医療者を目指す学生教育支援 2018 年度から支援する看護学生に対する支援を継続	1. 老朽化し故障の多かった CBC 測定器を新たに入れ替え、施設内で正確な検査をタイムリーに実施できるようになりました。これにより、他院に頼らず、 Dengue 熱重症化の早期発見、小児がん患者や産後の母親に対する検査等で信頼できる結果の入手が可能となりました。また、他院へ検査を頼らないことで患者さんの医療費負担も軽減できました。 2. 医療者を目指す学生教育支援 支援しているカンボジア人看護学生は看護医療や語学学習に励まれています。
Future Code （バングラデシュ）	同 NPO と当社で、2020 年からの活動内容や計画を協議して方向性を確立	2020 年より始まるプロジェクトの内容の把握や、活動目標の策定を行いました。
ピープルズ・ホープ・ジャパン （ミャンマー）	同 NPO と当社で、2020 年からの活動内容や計画を協議して方向性を確立	2020 年より始まるプロジェクトの内容の把握や、活動目標の策定を行いました。

※当社からジャパンハートこども医療センターに対する 2018 年度の支援の結果、2019 年度に得られた成果

・2018 年度にジャパンハートこども医療センターで BLS 演習用人形（当社より寄付）を用いてトレーニングを受けたカンボジア人医療者が、指導者として新入職者と地域住民に対し BLS トレーニングを行いました。

昨年度は受講者であった若手医療者も指導役としてトレーニングを行えるようになりました。（ジャパンハートこども医療センターに勤める全医療系職員は BLS 人形を使った演習に参加済）

KPI：地域住民の方 16 人、ジャパンハートこども医療センターカンボジア人スタッフ（非医療系職員含む）55 人

・2018 年度にジャパンハートこども医療センター新生児蘇生演習用人形（当社より寄付）を用いてトレーニングを受けた助産師が講師として、助産師以外の医療スタッフへ新生児蘇生演習用人形を使用した新生児蘇生法講習を実施しました。

KPI：ジャパンハートこども医療センター医療スタッフ 33 人、公立ボンネルー病院スタッフ 1 人

・ジャパンハートこども医療センターで本格的に分娩を開始していくにあたり、日本人助産師が分娩シミュレーター（2018 年度に当社より寄付）を使って分娩介助の方法について勉強会を実施しました。（安全な分娩の練習、分娩時のリスクのサインの確認等）

KPI：カンボジア人助産師の全職員 9 人へ 2 か月に 1 回の頻度で実施